

「圖畫工作」 「美術」

小学部高学年「図画工作」指導内容表

単元名	目標
教室を飾ろう うつつして楽しもう	(1)かいたり、つくったり、飾ったりすることに関心をもつ。(小学部1段階) (2)土、木、紙などの身近な材料をもとに造形遊びをする。(小学部1段階)

○本単元でねらう具体的な目標  
(本単元でねらう具体的な目標)

- ① 自分の好きな物を作る。
- ② 手指の動き等を使い、草花を並べる、千切る、紙を丸める・ちぎるなどする。また、はさみを使って自由に切る。
- ③ つないだり張ったりして、飾りを仕上げる。
- ④ 自分の作品の簡単な説明を教師と一緒にしたり、友達の作品を見たりする。

○関連する自立活動の内容

身体の動き<握る・つまむ>

- 1.手を固く握りしめている
- 4.玩具等を小指側で(尺側)で握ることができる

身体の動き<上肢の操作>

2. 目的の物に手を伸ばすことができる
3. 片手から片手へ物を持ち帰ることができる
4. 手や持っている物で机や台を叩くことができる

人間関係の形成<人や物との関係>

- 3.音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる
- 17.「ちょうだい」と要求されると握ったまま差し出すことができる

環境の把握<知覚>

9. なぐり書きをすることができる
20. はさみを使って紙を切ることができる

コミュニケーション<伝達>

1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる
3. 手を伸ばすことで要求の対象を選択することができる
4. 「イヤ」という気持ちを伝えることができる

○身につけてほしい力  
興味関心を広げる力

○学習内容	
○染めた紙や身近な紙を使って作ろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身体の写しをとる。</li> <li>・様々な感触の紙を触り、教師とやりとりしながら、ちぎる、丸める、はさみで切るなどしながら自分の身体に装飾する。</li> <li>・糊の感触を味わいながら貼る。</li> <li>・友達と作ったものを見せ合い、教師と一緒に感想を発表する。</li> </ul>
○身近な草花で紙染めをしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草花を採集する。</li> <li>・紙の間に植物を入れて叩く。(手、めん棒、木づちなど)</li> <li>・紙の間に植物を入れてこする、しぼるなどする。</li> <li>・友達と作ったものを見せ合い、教師と一緒に感想を発表する。</li> </ul>

○評価規準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の香り、などを感じ、表情等でその違いを表現できたか。また、それらを感じたことで手の動きが活発になるなど作品作りへの意欲が見られたか。(①)</li> <li>・握って引っ張る、手で押しつける、花や紙に触れると力が入るなどの手の動きが見られたか。あるいは、教師と一緒にする中で緊張せずにこれらの活動を一緒にすることができたか。(②)</li> <li>・教師の声かけに発声や表情等で受け答えすることができたか。(①②③)</li> <li>・友達の作品を見たり、話を聞いたりすることができたか。(③)</li> </ul>

## 小学部高学年「図画工作」指導内容表

単元名	目標
粘土で作ろう	(1) かいたり、つくったり、飾ったりすることに関心をもつ。(小学部1段階) (2) 土、木、紙などの身近な材料をもとに造形遊びをする。(小学部1段階) (3) 粘土、クレヨン、はさみ、のりなどの身近な材料や用具を親しみながら使う。 (小学部2段階)

### ○本単元でねらう具体的な目標

- ① 粘土(紙粘土、オープン粘土、泥粘土)を丸める、のばす、ちぎるなど手指の動き等を使って変形させる。
- ② 色や形を教師と一緒に選択する。
- ③ 教師と一緒にキーホルダー、花瓶を道具を使って形にしたり、フィンガーペインティングなどをしたりする。
- ④ 自分の作品の簡単な説明を教師と一緒にしたり、友達の作品を見たりする。

- 身につけてほしい力  
見たり聴いたりする力  
興味関心を広げる力

### ○関連する自立活動の内容

- 身体の動き<握る・つまむ>
1. 手を固く握りしめている
  4. 玩具等を小指側で(尺側)で握ることができる
- 身体の動き<上肢の操作>
2. 目的の物に手を伸ばすことができる
  4. 手や持っている物で机や台を叩くことができる
  23. 粘土をちぎる、丸めることができる
- 人間関係の形成<人や物との関係>
3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる
  17. 「ちょうだい」と要求されると握ったまま差し出すことができる
- コミュニケーション<表出>
2. 不快なときに違う泣き方や不快な表情を表すことができる
  3. 嬉しい時に快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる
- コミュニケーション<伝達>
1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる
- 心理的な安定<注意の集中>
1. 背後・横・正面からの援助を受け入れることができる。
  2. 大人と向き合ったりやりとりしながら課題に取り組むことができる

### ○学習内容

- |                   |  |
|-------------------|--|
| ○紙粘土・オープン粘土でつくろう。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙粘土・オープン粘土の感触を味わう。</li> <li>・粘土の形が自在に変形することを知り、握る、のばす、ちぎる、まるめるなど形を成型してみる。</li> <li>・好きな色をつけて作品に形作る。</li> <li>・友達と作ったものを見せ合い、感想を発表する。</li> </ul>                                      |
| ○泥粘土の感触を楽しもう。     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・泥粘土の粉の感触を味わう。</li> <li>・水を加えながら、変わっていく粘土の感触を味わう。</li> <li>・粘土の形が自在に変形することを知り、握る、のばす、ちぎる、まるめるなど形を成型してみる。</li> <li>・どのような器を作るか教師と相談し、成型する。</li> <li>・友達と作ったものを見せ合い、感想を発表する。</li> </ul> |

### ○評価規準

- ・粘土や作品に注意を向け、目を向けたり、手を動かしたりすることができたか。(①)
- ・粘土を握ったり、押したり、引っ張ったりしながら、形を変えることができたか。(①)
- ・教師と一緒に何を作るかを決めて、手や道具を使って形作ることができたか(②)
- ・教師の声かけに発声や表情等で受け答えすることができたか。(①②③)
- ・友達の作品を見たり、話を聞いたりすることができたか。(③)

## 小学部高学年「図画工作」指導内容表

単元名	目標
自然の いろいろなものから	(1)かいたり、つくったり、飾ったりすることに関心をもつ。(小学部1段階) (2)土、木、紙などの身近な材料をもとに造形遊びをする。(小学部1段階) (3)粘土、クレヨン、はさみ、のりなどの身近な材料や用具を親しみながら使う。 (小学部2段階)

### ○本単元でねらう具体的な目標

- ①自然の中にあるものに興味を示す。  
(触れる・見る・音を聞くなど)
- ②自然のものを使って作品を作る。
- ③素材や色など教師と一緒に選択する
- ④自分の作品の簡単な説明を教師と一緒にしたり、友達の作品を見たりする。

○身につけてほしい力  
見たり聴いたりする力  
興味関心を広げる力

### ○関連する自立活動の内容

#### 身体の動き<上肢の操作>

- 2.目的の物に手を伸ばすことができる
- 4.手や持っている物で机や台を叩くことができる

#### 人間関係の形成<人や物との関係>

- 3.音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる
- 17.「ちょうだい」と要求されると握ったまま差し出すことができる

#### コミュニケーション<表出>

- 2.不快なときに違う泣き方や不快な表情を表すことができる
- 3.嬉しい時に快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる

#### コミュニケーション<伝達>

- 1.表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

#### 心理的な安定<注意の集中>

- 1.背後・横・正面からの援助を受け入れることができる。
- 2.大人と向き合ってやりとりしながら課題に取り組むことができる

### ○学習内容

○自然を感じよう。

- ・学校周辺を散策して秋の植物、木の実、小枝、石などを採取する。
- ・葉、木の実、小枝、石等の自然のものを見たり、触れたりする。

○額縁を作ろう。

- ・好きな小枝や木の実を使って額縁を作る。(敬老の日プレゼント)
- ・ボンドやホットボンドを使って額に貼り付ける
- ・友達と作ったものを見せ合い、感想を発表する。

○動物園を作ろう。

- ・いろいろな形の石を使って、魚や動物を作る。
- ・いろいろな形の石にちぎった紙を貼ったり、色を塗ったりする。
- ・友達と作ったものを見せ合い、感想を発表する。

### ○評価規準

- ・自然のもの(葉・小枝・木の実・石など)や作品に注意を向け、目を向けたり、手を動かしたりすることができたか。(①)
- ・教師と一緒に何を作るかを決めて、手や道具を使って形作ることができたか(②)
- ・教師の声かけに発声や表情等で受け答えすることができたか。(①②③)
- ・友達の作品を見たり、話を聞いたりすることができたか。(③)

## 小学部高学年「図画工作」指導内容表

単元名	目標
材料を組み合わせる	(1)かいたり、つくったり、飾ったりすることに関心をもつ。(小学部1段階) (2)土、木、紙などの身近な材料をもとに造形遊びをする。(小学部1段階) (3)粘土、クレヨン、はさみ、のりなどの身近な材料や用具を親しみながら使う。(小学部2段階)

- 本単元でねらう具体的な目標
- ①生活の身近にあるものに興味を示す。  
(触れる・見る・音を聞くなど)
  - ②リサイクル素材を使って作品を作る。
  - ③色や素材を教師と一緒に選択する。
  - ④自分の作品の簡単な説明を教師と一緒にしたり、友達作品を見たりする。

- 身につけてほしい力
- 見たり聴いたりする力
  - 興味関心を広げる力

- 関連する自立活動の内容
- 身体の動き<上肢の操作>
- 2.目的の物に手を伸ばすことができる
  - 4.手や持っている物で机や台を叩くことができる
- 人間関係の形成<人や物との関係>
- 3.音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる
  - 17.「ちょうだい」と要求されると握ったまま差し出すことができる
- コミュニケーション<表出>
- 2.不快なときに違う泣き方や不快な表情を表すことができる
  - 3.嬉しい時に快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる
- コミュニケーション<伝達>
- 1.表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる
- 心理的な安定<注意の集中>
- 1.背後・横・正面からの援助を受け入れることができる
  - 2.大人と向き合ってやりとりしながら課題に取り組むことができる

○学習内容	
○リサイクルおもちゃを作ろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に身近なリサイクル素材を見たり、触れたりする。</li> <li>・牛乳パックをカッターで切る。</li> <li>・テープでつなげてばねを作る</li> <li>・飾りをつける</li> <li>・友達と作ったものを見せ合い、感想を発表する。</li> </ul>
○風車を作ろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットボトルにマジックで描いたり、テープを貼ったりして飾る。</li> <li>・玄関に出て風車を回してみる。</li> <li>・友達と作ったものを見せ合い、感想を発表する。</li> </ul>
○楽器を作ろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな素材を使って、太鼓、マラカス、琴など好きな楽器を作る。</li> <li>・友達と作ったものを見せ合い、感想を発表する。</li> <li>・いろいろな形の石にちぎった紙を貼ったり、色を塗ったりする。</li> <li>・友達と作ったものを見せ合い、感想を発表する。</li> </ul>

- 評価規準
- ・生活の中にあるリサイクル素材や作品に注意を向け、目を向けたり、手を動かしたりすることができたか。(①)
  - ・教師と一緒に何を作るかを決めて、手や道具を使って形作ることができたか(②)
  - ・教師の声かけに発声や表情等で受け答えすることができたか。(①②③)
  - ・友達作品を見たり、話を聞いたりすることができたか。(③)

## 小学部高学年「図画工作」指導内容表

単元名	目標
かみはんが	(1)かいたり、つくったり、飾ったりすることに関心をもつ。(小学部1段階) (2)土、木、紙などの身近な材料をもとに造形遊びをする。(小学部1段階) (3)粘土、クレヨン、はさみ、のりなどの身近な材料や用具を親しみながら使う。 <span style="float: right;">(小学部2段階)</span>

### ○本単元でねらう具体的な目標

- ①道具を使って紙を切る。  
(はさみ、カッター、型押し、手など)
- ②版画を印刷する。  
(色の選択、紙をこする手の動きなど)
- ③年賀状では、宛名シールを貼ったりスタンプを押したりする。
- ④自分の作品の簡単な説明を教師と一緒にしたり、友達作品を見たりする。

### ○関連する自立活動の内容

#### 身体の動き<上肢の操作>

- 2.目的の物に手を伸ばすことができる
- 4.手や持っている物で机や台を叩くことができる

#### 人間関係の形成<人や物との関係>

- 3.音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる
- 17.「ちょうだい」と要求されると握ったまま差し出すことができる

#### コミュニケーション<表出>

- 2.不快なときに違う泣き方や不快な表情を表すことができる
- 3.嬉しい時に快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる

#### コミュニケーション<伝達>

- 1.表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

#### 心理的な安定<注意の集中>

- 1.背後・横・正面からの援助を受け入れることができる
- 2.大人と向き合ってやりとりしながら課題に取り組むことができる

- 身につけてほしい力  
見たり聴いたりする力  
興味関心を広げる力

### ○学習内容

#### ○紙版画を作ろう

- ・紙を切る。(はさみ、カッター、型押し、手など)
- ・台紙に貼る。
- ・友達と作ったものを見せ合い、感想を発表する。

- ・台紙に絵の具をつけて印刷する。
- ・誰に年賀状を送るか、考える。
- ・友達と作ったものを見せ合い、感想を発表する。

#### ○年賀葉書を出そう

- ・宛名シールを貼ったり、スタンプを押したりして完成させる。
- ・友達と作ったものを見せ合い、感想を発表する。

- ・郵便局に行って年賀葉書を出す。

### ○評価規準

- ・道具を使って、紙を切ることができたか。(①)
- ・教師の声かけに発声や表情等を使って受け答えすることができたか。(①②③)
- ・友達の作品を見たり、話を聞いたりすることができたか。(④)

## 小学部高学年「図画工作」指導内容表

単元名	目標
願いや思いを形や色に ～2012 カレンダー作り～	(1) かいたり、つくったり、飾ったりすることに関心をもつ。 (小学部1段階) (2) 土、木、紙などの身近な材料をもとに造形遊びをする。 (小学部1段階) (3) 粘土、クレヨン、はさみ、のりなどの身近な材料や用具を親しみながら使う。 (小学部2段階)

### ○本単元でねらう具体的な目標

- ① 写真や自分の作品を通して、今年度の様子を思い出す。
- ② 道具を使って紙を切る。  
(はさみ、カッター、型押し、手など)
- ③ 道具を持つ。  
(スタンプ、糊スティック、マジックなど)
- ④ 自分の作品の簡単な説明を教師と一緒にしたり、友達の作品を見たりする。

○身につけてほしい力  
見たり聴いたりする力  
興味関心を広げる力

### ○関連する自立活動の内容

#### 身体の動き<上肢の操作>

2. 目的の物に手を伸ばすことができる
4. 手や持っている物で机や台を叩くことができる

#### 人間関係の形成<人や物との関係>

3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる
17. 「ちょうだい」と要求されると握ったまま差し出すことができる

#### コミュニケーション<表出>

2. 不快なときに違う泣き方や不快な表情を表すことができる
3. 嬉しい時に快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる

#### コミュニケーション<伝達>

1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

#### 心理的な安定<注意の集中>

1. 背後・横・正面からの援助を受け入れることができる
2. 大人と向き合ってやりとりしながら課題に取り組むことができる

### ○学習内容

#### ○カレンダーをつくらう

- ・今年一年間の作品を使ってカレンダーを作ることを知る。
- ・好きな色を選んで、自由に描く。
- ・友達と作ったものを見せ合い、教師と一緒に感想を発表する。
- ・今年の写真上台紙に貼る。(ステック糊、両面テープなど)
- ・友達と作ったものを見せ合い、教師と一緒に感想を発表する。
- ・カレンダーの日付を台紙に貼る。(ステック糊)
- ・自分の誕生日に印をつける。(マジック、シールなど)
- ・友達と作ったものを見せ合い、教師と一緒に感想を発表する。
- ・カレンダーの日付を台紙に貼る。(ステック糊)
- ・台紙を束ねて綴じる
- ・友達と作ったものを見せ合い、教師と一緒に感想を発表する。

### ○評価規準

- ・写真や自分の作品を見ながら楽しかったことががんばったことなど教師の声かけに受け答えすることができたか。(①)
- ・道具を使って、紙を切ることができたか。(②)
- ・教師の声かけに発声や表情等で受け答えすることができたか。(①②③④)
- ・友達の作品を見たり、話を聞いたりすることができたか。(④)

小学部高学年「図画工作」指導内容表

単元名	目標
願いや思いを形や色に ～光のオブジェを作ろう～	(1) かいたり、つくったり、飾ったりすることに関心をもつ。(小学部1段階) (2) 土、木、紙などの身近な材料をもとに造形遊びをする。(小学部1段階) (3) 粘土、クレヨン、はさみ、のりなどの身近な材料や用具を親しみながら使う。 (小学部2段階)

○本単元でねらう具体的な目標

- ①好きな色の光を見つける。
- ②道具を使ってセロファンや紙を切る。  
(はさみ、カッター、パンチ、手など)
- ③自分の作品の簡単な説明を教師と一緒にしたり、友達作品を見たりする。

○関連する自立活動の内容

身体の動き<上肢の操作>

2. 目的の物に手を伸ばすことができる
4. 手や持っている物で机や台を叩くことができる
9. なぐり書きをすることができる
20. はさみを使って紙を切ることができる

人間関係の形成<人や物との関係>

3. 音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる
17. 「ちょうだい」と要求されると握ったまま差し出すことができる

コミュニケーション<表出>

2. 不快なときに違う泣き方や不快な表情を表すことができる
3. 嬉しい時に快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる

コミュニケーション<伝達>

1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

心理的な安定<注意の集中>

1. 背後・横・正面からの援助を受け入れることができる
2. 大人と向き合ってやりとりしながら課題に取り組むことができる

- 身につけてほしい力  
見たり聴いたりする力  
興味関心を広げる力

○学習内容

○光遊びをしよう。

- ・赤、青、白などの光を見たり、目で追ったりする。
- ・好きな色の光を見つける。
- ・教師と一緒に、感想を発表する。

○スタンドグラスを作ろう。

- ・好きな色のセロファンを選ぶ。
- ・はさみで切って、シートに貼る。
- ・マジックやガラスペンを使って透明シートに自由に模様を描く。
- ・友達と作ったものを見せ合い、教師と一緒に感想を発表する。

○つくったスタンドグラスで  
光遊びをしよう。

- ・作ったスタンドグラスに光を当ててみる。
- ・様々な光の色や点滅を感じる。
- ・教師と一緒に、感想を発表する。

○評価規準

- ・光を見たり、目で追ったりすることができたか。(①)
- ・はさみやカッターなど教師と一緒に安全に気をつけて使用することができたか。(②)
- ・教師の声かけに発声や表情等で受け答えすることができたか。(①②③)
- ・友達の作品を見たり、話を聞いたりすることができたか。(③)



## 中学部「美術」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
心の中のイメージを描いてみよう	(1)粘土、クレヨン、はさみ、のりなどの身近な材料や用具を親しみながら使う。 (小学部2段階) (2)友達と作品を見せ合ったり、造形品などの形や色、表し方の面白さなどに気付いたりする。(小学部3段階)

### ○本単元でねらう具体的な目標

- ①美術で扱う学習内容や学習活動の提示や説明を見たり、聞いたりすることで、美術に対する関心をもつことができる。
- ②色(色相・明度・彩度)を感じる。
- ③自分から手や指を動かしたり、教師と一緒に画用紙を動かしたりして作品を制作することができる。
- ④自分の作品に気づいたり、友達の作品に関心をもって見たりすることができる。

- 身につけてほしい力  
見たり聴いたりする力  
興味関心を広げる力  
余暇を楽しむ力

### ○関連する自立活動の内容

#### 心理的な安定〈注意の集中〉

1. 背後・横・正面からの援助を受け入れることができる
2. 大人と向き合ったりやりとりしながら課題に取り組むことができる

#### 環境の把握〈感覚(視覚)〉

3. 視線の中央に入ってきた物を見つめる(固視)ことができる
9. 物を握り、目と手で調べるように手元を見ることができる

#### 環境の把握〈体性感覚〉

8. 玩具を振ったり眺めたりすることができる。

#### 環境の把握〈探索〉

2. 握った物を観察することができる

#### 身体の動き〈上肢の操作〉

1. 片方の手を前に伸ばすことができる
2. 目的の物に手を伸ばすことができる

#### コミュニケーション〈表出(発声・発語)〉

3. 嬉しいときに快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる

#### コミュニケーション〈伝達〉

1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

### ○学習内容

- |                 |  |
|-----------------|--|
| ○「美術の授業について知る。」 | ・スクリーンで代表的な作品を見る。<br>・美術で主に使う道具(筆、ローラー、刷毛、画用紙など)に触れる。                              |
| ○「ぼかし絵を描く。」     | ・絵の具のにじみを利用して画用紙に色をつける。<br>・スクリーンで赤・黄色・緑・青などの色を見て色のイメージをもつ。<br>・絵の具で上からいろいろな模様を描く。 |
| ○「完成した作品を鑑賞する。」 | ・できた作品をみんなの前で発表する。   |

### ○評価規準

- ・提示された物に興味・関心をもって見たり、実際に触って感触の違いを受け止めたりすることができたか。(①)
- ・スクリーンの画像や色のついた光に注目することができたか。(①②)
- ・できるだけ自分で手を動かそうとしたり、個に応じた用具を教師と一緒に使ったりしながら、作品を完成させることができたか。(③)
- ・教師が提示した作品を見たり、作品に触れたりして表情や動きで気持ちを表現することができたか。(④)

## 中学部「美術」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
粘土で自分の顔を作ろう	(1)見たことや感じたことを絵にかいたり、つくったり、それを飾ったりする。 (小学部2段階) (2)友達と作品を見せ合ったり、造形品などの形や色、表し方の面白さなどに気付いたりする。(小学部3段階)

### ○本単元でねらう具体的な目標

- ①粘土の形が変化することに関心を示す。
- ②粘土の質感を感じ、教師と一緒に用具を使ったり自分から手や指を動かしたりして作品を制作することができる。
- ③自分の作品に気づいたり、友達の作品に関心をもって見たりすることができる。

### ○関連する自立活動の内容

#### 心理的な安定〈注意の集中〉

2. 大人と向き合ってやりとりしながら課題に取り組むことができる

#### 環境の把握〈視覚〉

3. 視線の中央に入ってきた物を見つめることができる

#### 環境の把握〈体性感覚〉

10. 手を伸ばして物をつかむことができる

#### 環境の把握〈認知〉

2. 白・黒(図・地)の区別がつく

#### 身体の動き〈握る・摘む〉

5. 玩具等を渡されると親指以外の4指で握ろうとすることができる

#### 身体の動き〈上肢の操作〉

2. 目的の物に手を伸ばすことができる

4. 手や持っている物で机や台をたたくことができる

#### コミュニケーション〈表出(伝達)〉

1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

- 身につけてほしい力  
見たり聴いたりする力  
興味関心を広げる力  
余暇を楽しむ力

### ○学習内容

#### ○「学習する内容を知る。」

- ・スクリーンを見たり、話を聞いたりしながら、自分の顔や先生の顔に触れる。
- ・粘土に触れる。  
(土に指で触れたり握ったりしながら、感触を味わう)  
(手を使って、伸ばしたり、丸めたり、ちぎったりする)

#### ○「作品を作る。」

- ・輪郭を作成する。  
(紙粘土に少量ずつ絵の具を混ぜ、こねたり伸ばしたりしながら、作成する)
- ・顔のパーツ(目、耳、鼻、口、髪など)を作る。  
(紙粘土に少量ずつ絵の具を混ぜ、こねたり、伸ばしたり、型抜きをしながら、作成する)

#### ○「できた作品をみんなの前で発表する。」

- ・自分の作品を見ながら、タイトルを作成する。

### ○評価規準

- ・粘土に触れて、表情を変えたり粘土の感触を受け入れたりすることができたか。(①②)
- ・できるだけ自分で手を動かそうとしたり、個に応じた用具を教師と一緒に使ったりしながら作品を完成させることができたか。(②)
- ・教師が提示した作品を見たり、作品に触れたりして表情や動きで気持ちを表現することができたか。(②)

## 中学部「美術」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
バリアフリーデザインのリサーチをしよう	(1)粘土、クレヨン、はさみ、のりなどの身近な材料や用具を親しみながら使う。 (小学部2段階) (2)友達と作品を見せ合ったり、造形品などの形や色、表し方の面白さに気付いたりする。(小学部3段階)

### ○本単元でねらう具体的な目標

- ①バリアフリーの製品や道具の特徴を感じることができる。
- ②絵の具など道具や素材の質感を感じ、自分から動かすことができる。
- ③自分の作品を発表したり、友達の作品に関心をもって見たりすることができる。

### ○関連する自立活動の内容

#### 心理的な安定〈注意の集中〉

1. 背後・横・正面からの援助を受け入れることができる
2. 大人と向き合ってやりとりしながら課題に取り組むことができる

#### 環境の把握〈感覚(視覚)〉

3. 視線の中央に入ってきた物を見つめる(固視)ことができる
9. 物を握り、目と手で調べるように手元を見ることができる

#### 環境の把握〈体性感覚〉

8. 玩具を振ったり眺めたりすることができる

#### 環境の把握〈探索〉

2. 握った物を観察することができる

#### 身体の動き〈上肢の操作〉

1. 片方の手を前に伸ばすことができる
2. 目的の物に手を伸ばすことができる

#### コミュニケーション〈表出(発声・発語)〉

3. 嬉しいときに快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる

#### コミュニケーション〈伝達〉

1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

### ○身につけてほしい力

見たり聴いたりする力  
興味関心を広げる力  
余暇を楽しむ力

### ○学習内容

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| ○「バリアフリー製品・設備について紹介をする。」 | ・プロジェクターでバリアフリーについて知る。<br>・実際にバリアフリーの物に触れ、体験してみる。 |
| ○「ピクトグラムを作ろう。」           | ・対比する見やすい色を選択する。<br>・画用紙に色をぬったり、形に合わせて切り貼りをしたりする。 |
| ○「完成した作品を鑑賞する。」          | ・自分の作品を紹介したり、友達の作品を見たりする。                         |

### ○評価規準

- ・バリアフリーやユニバーサルデザインの物に触れ、表情を変えたり感触の違いを感じたりすることができたか。(①)
- ・できるだけ自分で手を動かそうとして制作に取り組むことができたか。(②)
- ・教師の提示した作品や自分や友達の作った作品を見たり触ったりして、表情や動きで気持ちを表現することができたか。(③)

## 中学部「美術」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
身近な写真を撮ってみよう	(1) 粘土、クレヨン、はさみ、のりなどの身近な材料や用具を親しみながら使う。 (小学部2段階) (2) 友達と作品を見せ合ったり、造形品などの形や色、表し方の面白さなどに気付いたりする。(小学部3段階)

○本単元でねらう具体的な目標

- ①カメラを使って、身近な物や人を撮ることができる。
- ②道具や素材の質感を感じ、自分から動かすことができる。
- ③自分の作品を発表したり、友達の作品に関心をもって見たりすることができる。

○関連する自立活動の内容

心理的な安定〈注意の集中〉

1. 背後・横・正面からの援助を受け入れることができる
2. 大人と向き合ったりやりとりしながら課題に取り組むことができる

環境の把握〈感覚（視覚）〉

3. 視線の中央に入ってきた物を見つめる（固視）ことができる
9. 物を握り、目と手で調べるように手元を見ることができる

環境の把握〈体性感覚〉

8. 玩具を振ったり眺めたりすることができる

環境の把握〈探索〉

2. 握った物を観察することができる

身体の動き〈上肢の操作〉

1. 片方の手を前に伸ばすことができる
2. 目的の物に手を伸ばすことができる

コミュニケーション〈表出（発声・発語）〉

3. 嬉しいときに快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる

コミュニケーション〈伝達〉

1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

○身につけてほしい力

- ・見たり聴いたりする力
- ・興味関心を広げる力
- ・余暇を楽しむ力

○学習内容	
○「写真を撮ってみよう。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラの使い方について知る。</li> <li>・自分のまわりの物や人を写真に撮る。</li> </ul>
○「写真を立体に貼ろう。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円柱の形を感じながら写真を貼る。</li> <li>・円柱の中に、鈴や大豆等を入れ、転がしたり振ったりして音が鳴るようにする。</li> </ul>
○「完成した作品を鑑賞する。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の作品を紹介したり、友達の作品を見たりする。</li> </ul>

○評価規準

- ・被写体やカメラに触れ、表情を変えたり感触の違いを感じたりすることができたか。(①)
- ・個に応じた教具・手立てのもと、できるだけ自分で手を動かして制作に取り組むことができたか。(②)
- ・教師の提示した作品や自分や友達の作った作品を見たり触ったりして、表情や動きで気持ちを表現することができたか。(③)

## 中学部「美術」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
学習発表会のポスターを作ろう	(1)粘土、クレヨン、はさみ、のりなどの身近な材料や用具を親しみながら使う。(小学部2段階) (2)友達と作品を見せ合ったり、造形品などの形や色、表し方の面白さなどに気付いたりする。(小学部3段階)

### ○本単元でねらう具体的な目標

- ①クレパスや絵の具などの道具や素材の質感を感じ、自分から動かすことができる。
- ②自分の作品を発表したり、友達の作品に関心をもって見たりすることができる。

### ○関連する自立活動の内容

#### 心理的な安定〈注意の集中〉

1. 背後・横・正面からの援助を受け入れることができる。
2. 大人と向き合ったりやりとりしながら課題に取り組むことができる。

#### 環境の把握〈知覚〉

3. クレヨンで描こうとする(点描程度)。
9. なぐり書きをすることができる。

#### 環境の把握〈認知〉

2. 白・黒(図・地)の区別がつく。
16. 色や形によってものを区別することができる。

#### 身体の動き〈上肢の操作〉

1. 片方の手を前に伸ばすことができる。
2. 目的の物に手を伸ばすことができる。

#### コミュニケーション〈表出(発声・発語)〉

3. 嬉しいときに快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる。

#### コミュニケーション〈伝達〉

1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる。

### ○身につけてほしい力

見たり聴いたりする力  
興味関心を広げる力  
余暇を楽しむ力

### ○学習内容

#### ○「ポスターを作ろう。」

- ・学習発表会のことを知る。
- ・八つ切り画用紙に自由にクレパスで模様を描く。(2枚以上)
- ・画用紙に水で薄めた絵の具を筆や手で描く。(バチック技法)
- ・描いた画用紙を切り、A3くらいの大きさのポスターを作る。(コラージュ)

#### ○「完成した作品を鑑賞する。」

- ・自分の作品を紹介したり、友達の作品を見たりする。

### ○評価規準

- ・使いたいクレパスや絵の具を選んだり、色合いなどを考えたりしながら作ることができたか。(①)
- ・個に応じた教具・手立てのもと、できるだけ自分で手を動かして制作に取り組むことができたか。(①)
- ・教師の提示した作品や自分や友達の作った作品を見たり触ったりして、表情や動きで気持ちを表現することができたか。(②)

中学部「美術」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
日本画を描こう	(1)かいたり、つくったり、飾ったりすることに関心をもつ。(小学部1段階) (2)粘土、クレヨン、はさみ、のりなどの身近な材料や用具を親しみながら使う。(小学部2段階) (3)友達と作品を見せ合ったり、造形品などの形や色、表し方の面白さなどに気付いたりする(小学部3段階)

○本単元でねらう具体的な目標  
(本題材でねらう具体的な目標)

①墨や筆、和紙などの道具や素材の質感、匂いなどを感じ、自分から身体を動かすことができる。

②自分や友達の素材を合わせて完成させた作品を、関心をもって見たり触ったりすることができる。

○関連する自立活動の内容

心理的な安定〈注意の集中〉

1. 背後・横・正面からの援助を受け入れることができる
2. 大人と向き合ってやりとりしながら課題に取り組むことができる

環境の把握〈知覚〉

9. なぐり書きをすることができる

環境の把握〈認知〉

2. 白・黒(図・地)の区別がつく
16. 色や形によってものを区別することができる

身体の動き〈上肢の操作〉

1. 片方の手を前に伸ばすことができる
2. 目的の物に手を伸ばすことができる

コミュニケーション〈表出(発声・発語)〉

3. 嬉しいときに快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる

コミュニケーション〈伝達〉

1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

○身につけてほしい力

見たり聴いたりする力  
興味関心を広げる力  
余暇を楽しむ力

○学習内容	
○「日本画を描こう。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本画を作成する際に使う道具について知る。</li> <li>・筆や和紙に触れたり、墨の匂いを嗅いだりする。</li> <li>・墨で描く。(筆、手、足など)(濃い墨～薄い墨)</li> </ul>
○「完成した作品を鑑賞する。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな濃さの墨絵を貼り一枚の日本画を作る。</li> <li>・でき上がった作品を鑑賞し展示する。</li> </ul>

○評価規準

- ・墨や筆、和紙に触れ、表情を変えたり感触の違いを感じたりすることができたか。(①)
- ・個に応じた教具・手立てのもと、できるだけ自分で手を動かして制作に取り組むことができたか。(①)
- ・完成した作品を見たり触ったりして、表情や動きで気持ちを表現することができたか。(②)

## 中学部「美術」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
ランタンを作ろう	(1)かいたり、つくったり、飾ったりすることに関心をもつ。(小学部1段階) (2)土、木、紙などの身近な材料をもとに造形遊びをする。(小学部1段階)

<p>○本単元でねらう具体的な目標</p> <p>①ランタンから放たれる光の明暗や色に目線を向けることができる。</p> <p>②ランタンに触れることで紙質や暖かさに気づくことができる。</p> <p>③個に応じた姿勢や補助具を利用しながら、自分で手を動かして障子紙を破ったり、色をつけたりすることができる。</p>	<p>○関連する自立活動の内容</p> <p><u>心理的な安定〈注意の集中〉</u></p> <p>1. 背後・横・正面からの援助を受け入れることができる</p> <p>2. 大人と向き合ってやりとりしながら課題に取り組むことができる</p> <p><u>環境の把握〈視覚〉</u></p> <p>2. 懐中電灯の光に反応する(目で光を追う・目を反らす)ことができる</p> <p>3. 視線の中央に入ってきた物を見つめる(固視)ことができる</p> <p><u>環境の把握〈知覚〉</u></p> <p>3. クレヨンで描こうとする(点描程度)</p> <p>9. なぐり書きをすることができる</p> <p><u>環境の把握〈認知〉</u></p> <p>2. 白・黒(図・地)の区別がつく</p> <p><u>身体の動き〈上肢の操作〉</u></p> <p>1. 片方の手を前に伸ばすことができる</p> <p>2. 目的の物に手を伸ばすことができる</p> <p><u>コミュニケーション〈表出(発声・発語)〉</u></p> <p>3. 嬉しいときに快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる</p> <p><u>コミュニケーション〈伝達〉</u></p> <p>1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる</p>
--	--

○身につけてほしい力  
興味・関心を広げる力  
見たり聞いたりする力  
表現する力

○学習内容	
○「活動の内容を知る。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランタンの光や色を見たり、音楽を聴いたりすることで、何を作るのかイメージを持つ。</li> <li>・ランタンに触れることで素材の質感や光を感じる。</li> </ul>
○「ランタンを作る。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障子紙に霧吹きで水をつけ、指や手で穴を開けたり、破ったりする。</li> <li>・障子紙に筆や手、個に応じた補助具などを使って色をつける。</li> <li>・障子紙の穴にセロハンを貼る。</li> </ul>
○「完成した作品を鑑賞する。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点灯した作品を鑑賞しながら、制作の中の良かったところなどを発表しあう。</li> </ul>

○評価規準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライトやランタンを見たり、触ったりすることで発声や身体の動き、表情、言葉等で表現することができたか。(①②)</li> <li>・個に応じた教具・手立てのもと、障子紙に指で穴を開けたり、破ったりなどできるだけ自分で身体を動かして制作することができたか。また、筆や手のひらを使って障子紙に色をつけることができたか。(③)</li> <li>・教師の提示した作品や自分や友達の作った作品に目線を向けたりする様子が見られたか。また、作品に触れたりすることで、表情を変える様子が見られたか。(①②)</li> </ul>

## 中学部「美術」指導内容表

単元名	学習指導要領の内容
卒業制作 「みんなの 花を咲かせよう」	(1)かいたり、つくったり、飾ったりすることに関心をもつ。(小学部1段階) (2)土、木、紙などの身近な材料をもとに造形遊びをする。(小学部1段階)

### ○本単元でねらう具体的な目標

- ①押し付ける、叩く、滑らせるなど自分のできる動きを利用してそれぞれの桜の花びらを描くことができる。
- ②個に応じた姿勢や補助具を利用し、大筆で描ける太い線に気づき、自分から身体を動かしたり目線を向けたりすることができる。
- ③自分や友達作品を合わせて完成させた作品を、関心を持って見たり触ったりすることができる。

### ○関連する自立活動の内容

#### 心理的な安定〈注意の集中〉

1. 背後・横・正面からの援助を受け入れることができる
2. 大人と向き合ったりやりとりしながら課題に取り組むことができる

#### 環境の把握〈視覚〉

3. 視線の中央に入ってきた物を見つめる(固視)ことができる

#### 環境の把握〈知覚〉

3. クレヨンで描こうとする(点描程度)
9. なぐり書きをすることができる

#### 環境の把握〈認知〉

2. 白・黒(図・地)の区別がつく

#### 身体の動き〈上肢の操作〉

1. 片方の手を前に伸ばすことができる
  2. 目的の物に手を伸ばすことができる
- コミュニケーション〈表出(発声・発語)〉
3. 嬉しいときに快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる

#### コミュニケーション〈伝達〉

1. 表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる

### ○身につけてほしい力

見たり聞いたりする力  
興味・関心を広げる力  
表現する力

### ○学習内容

#### ○「活動の内容を知る。」

- ・卒業について知る。
- ・桜の写真を見る、桜に関する曲を聴くなどして、桜についてのイメージをもつ。

#### ○「桜の木を描く。」

- ・幹、枝を描く。
- ・花びらを描く。

- ・大筆でそれぞれの動き、補助具を利用しながら枝、幹を描く。
- ・筆、手の平、個に応じた補助具などを使って桜の花びらを描く。
- ・素材や動き、描くことで起きる振動などを味わう。
- ・それぞれできたところまでを発表し合う。

#### ○「完成した作品を鑑賞する。」

- ・それぞれの桜の木を貼り合わせ1つの絵にする。
- ・それぞれの作品を鑑賞しながら、制作の中の良かったところなどを発表し合う。
- ・でき上がった作品を展示し、スポットライトの当たった自分や友達の作品を見たり触ったりする。

### ○評価規準

- ・桜の花びらを描く中で、できるだけ自分で押し付ける、叩く、滑らせるなどの動きを出して描くことができたか。また、手元や描いたものに目線を向ける、表情を変えるなどの様子がみられたか。(①)
- ・大筆で描ける太い線や描くことで起きる振動に気づき、目線を向けたり表情を変えたりする様子がみられたか(②)
- ・出来上がった作品を教師と一緒に発表する中で制作の過程でできた描き方や動きを見せることができたか。(③)
- ・それぞれの作品や友達の発表に目線を向けたりする様子が見られたか。(③)